

月曜 スマイル

火曜 老舗探訪

水曜 達人

木曜 メディカル

金曜

ふじしま内科

豊田市



「週に1度のテニス
が楽しみ」と話す藤
島院長

略歴

1974年生まれ。
2001年藤田保健衛
生大学医学部卒。佐世
保市立総合病院、長崎
大学病院、名古屋記念
病院などの勤務を経
て、16年8月ふじしま
内科を開院。

町のお医者さん

豊田市本新町の国道153号沿いに建つ「豊田ほっとかん」は、有料老人ホームや温浴施設、コミュニケーションセンターなどが一体となった複合施設。この建物の2階に2016年に開院したのが「ふじしま内科」。

一般内科、糖尿病内科、甲状腺、脂質代謝内科、内分泌内科を診療科に掲げる。基幹病院と同等レベルの機器をそろえながら、「町のクリニックならではの心の通う温かい治療を目指している」という藤島圭一郎院長。特に、甲状腺に関しては、豊田市では唯一、甲状腺がんの確定診断に役立つ穿刺(せんし)吸引細胞診を行っている。

甲状腺エコー、頸動脈エコー、腎機能や肝機能などの生化学検査を行う自動分析装置をはじめ、さまざまな最新機器を用い、その迅速な結果をリアルタイムで治療に反映させている。最近では自分で情報を集め、「甲状腺疾患では」と同クリニックを訪れる患者もいるという。「検査結果が異常なければ『病気になる』

診てほしいと思われるように

患者に寄り添う温かい治療



カフェのような待合室窓際の席は患者にも人気

「ここならまた何かあったら診てもらおう、と思っただけでよかった」、万一疾患が見つかったとしても「早く治療がスタートできる。よかった」となる。とにかく不調を感じたら迷わず医師にかかることです(藤島院長)。もはや国民病となった糖尿病をはじめとする生活習慣病に対しても藤島院長のアプローチは明確だ。患者の話をじっくり聞き、しっかり説明して、納得の上で生活指導をする。「最終的に到達したい目標を設定しますが、そこに行くまでにも、いくつかの段階に区切って目標を立てます。その都度達成した喜びをともに感じながら次に進むほうが、患者さんの気持ちも上がるし結果もついてきます」と語る。

「一人ひとりの患者さんに合った治療」「じっくり聞いてしっかり説明し、きちんと納得してもらう」「一人ひとりの患者さんに合った治療」「じっくり聞いてしっかり説明し、きちんと納得してもらう」

「一人ひとりの患者さんに合った治療」「じっくり聞いてしっかり説明し、きちんと納得してもらう」

MEDICAL HEALTH

痛み止めや血栓予防薬

服用

でも高まる。「ピロリ菌がいる人は1.8倍」「痛み止めを飲んでいる人は4.9倍」「ピロリ菌がいて、同等。高齢者でも、除菌治療で「炎症を起こさない消化管粘膜」を得られることが分かった。一方、

PP I服用を加えれば、より効果的に消化管出血を抑制できる」と内山院長が言う。「胃痛の経験がほとんどない」「症状がない」といった理由から「ピロリ

老親に勧めたい治療のひとつがピロリ菌の除菌治療。よく知られている「胃がん予防のため」だけではない。ピロリ菌に感染していると、30人に1人が胃が

好奇心と探究心(1)

6

言葉は「行動で確かめる